

第1学年 算数科指導案

日時 令和元年9月10日(火) 4校時
児童 男子7名 女子3名 計10名
指導者 教諭 青木 裕子

1 単元名 3つのかずのけいさん

2 構想表

指導について

手立て1 学習すること(課題)をとらえるための方法の構築および課題とまとめの関連付け

既習と比べることで、同じところと違うところを見つけ、課題をとらえる。

- ・順次増加…2つの数の加法との比較(言葉と絵やブロック操作, 図で確認。)
- ・順次減少…3つの数の加法との比較(言葉と絵により減法を確認。)
- ・加減混合…たし算とひき算が混ざっていること(言葉と絵による確認。)

学習内容を児童と共に振り返り, まとめる。

手立て2 算数の言葉を使って説明し合うための工夫

時間の経過を順序立ててとらえられる場面からブロック操作や図と合わせて説明させる。

問題文の言葉や絵をもとに, 式と記号の意味を理解できるようにする。

手立て3 学習したことを自分の言葉で表現する活動の設定

振り返りでわかったこと, できるようになったことを書く。

児童について

児童はこれまで加法減法の意味と20までの数の繰り上がり, 繰り下がりなしの加減計算の仕方について学習してきた。

事前テストの結果は, 以下の通りであり, 減法の立式の誤答は+と書いて計算はひき算していたものだった。計算は, 指を使ったり図を書いたりして行う児童が多い。

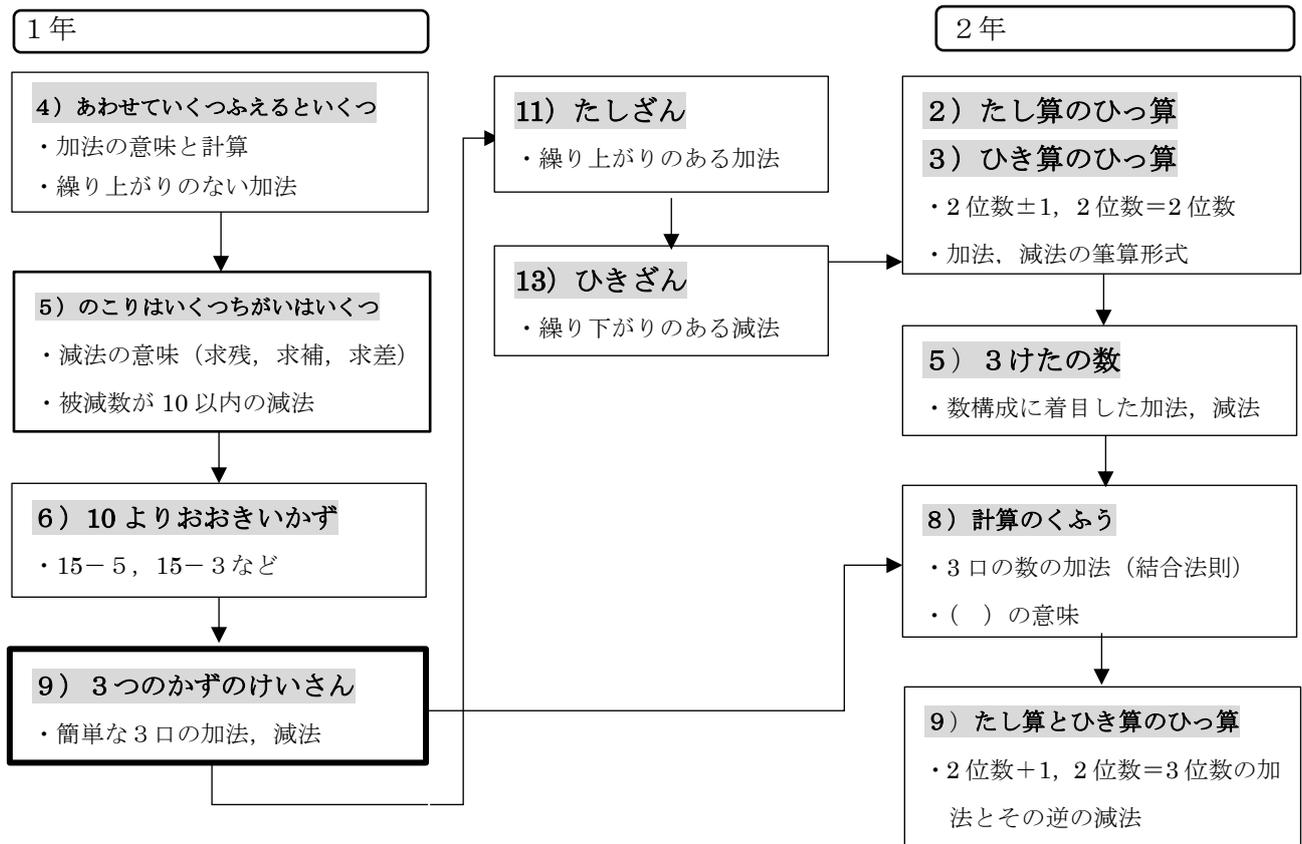
繰り上がり繰り下がりのない加減計算	80%
加法の文章問題	100%
減法の文章問題	70%
3口の加減計算(未習内容)	70%

教材について

本単元は, 新指導要領の第1学年「A数と計算」の(1)のア(エ)及び(2)のア(ア)(イ)(ウ)とイ(ア)に基づいて設定されている。

本単元では, 2つの数の加法減法の学習を基にして, 3つの数についても, 1つの式に表したり, 計算したりできるようにすることがねらいである。また, 繰り上がり繰り下がりのある計算の数処理(9+4の計算を9+1+3と念頭操作)が円滑にできるようにすることも意図している。

3 単元の系統



4 単元の目標・評価規準

(1) 目標

【知識及び技能】

- ・ 2つの数の加減計算を基に、3つの数の加減計算ができることを理解すること。
- ・ 3つの数の加減計算の場面を1つの式に表し、その計算が確実にできること。

【思考力・判断力・表現力等】

- ・ 2つの数の加法や減法を基に、3つの数の計算の仕方を考え、表現することができること。

【学びに向かう力・人間性等】

- ・ 3つの数の加減計算の場面を1つの式に表すことよさに気付こうとしている。

(2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 2つの数の加減計算を基に、3つの数の加減計算ができることを理解している。 ・ 3つの数の加減法計算の場面を1つの式に表し、その計算が確実にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2つの数の加法や減法を基に、3つの数の計算の仕方を考え、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3つの数の加減計算の場面を1つの式に表すことよさに気付こうとしている。

5 単元の指導計画

時	目 標	おもな学習活動	評価規準
① 3つのかずのけいさん			
1	○3つの数の加法の式の意味を理解し、その計算をすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 絵を見て、式を考える。 3つの数の加法の場面を1つの式に表す。 2つの数の加法計算を基にして、3つの数の加法計算の仕方を考え、計算する。 	思 2つの数の加法を基に、3つの数の加法計算の仕方を考え、説明している。(発言) 知 3つの数の加法の場面を1つの式に表すことを理解し、計算することができる。(ノート)
2	○3つの数の減法の意味を理解し、その計算をすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 絵を見て、式を考える。 3つの数の減法の場面を1つの式に表す。 2つの数の減法計算を基にして、3つの数の減法計算の仕方を考え、計算する。 	主 問題場面から数量の関係を読み取り、3つの数の減法の場面を1つの式に表そうとしている。(観察) 知 3つの数の減法の場面を1つの式に表すことを理解し、計算をすることができる。(ノート)
3	○3つの数の加減混合の式の意味を理解し、その計算をすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 絵を見て式を考え、解決する。 3つの数の加減混合計算の場面を1つの式に表す。 3つの数の加減混合計算の仕方を考え、計算する。【本時】 	思 2つの数の加法や減法を基に、3つの数の加減混合計算の仕方を考え、説明している。(発言・ノート) 知 3つの数の加減混合の式の意味を理解し、計算ができる。(ノート)
4	○答えが10になる3つの数の加法の式を考える活動を通して、3つの数の計算の理解を深める。	[やってみよう] <ul style="list-style-type: none"> $\square + \square + \square = 10$ になる式を考える。 $\square + \square + \square = 9$ になる式を考える。 	思 3つの数の加法計算で、和が10になる式を考え、説明している。(発言・観察・ノート)

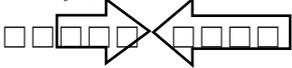
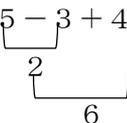
6 本時について (3/4)

(1) 目標

3つの数の加減混合の式の意味を理解し、その計算をすることができる。

(2) 展開

段階	主な学習活動	・指導上の留意点 □評価 ◆手立て
導入 10分	1 問題を把握し、立式する。 ねこは何びきになりましたか。 式 $5 - 3 + 4$	・絵を見ながら、話を作ることで問題文を確認し、立式させる。
	2 課題を把握する。 たす、ひくが混ざった計算をやってみよう。	◆前時までと違うことを式から気付かせる。(手立て1)

<p>展 開 30 分</p>	<p>3 計算の仕方を考え、発表する。</p> <p>①自力解決</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブロック  (おりた)3ひく (のった)4たす ・図  (おりた)3ひく (のった)4たす ・式 $5 - 3 + 4 = 6$  <p>②交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで計算の仕方を伝え合う。 <p>③発表</p> <p>4 計算の仕方を確かめ、まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前から順に計算する。(今までと同じ) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> たすとひくが混ざっていても、前から計算する。 </div> <p>5 適用問題を解く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ p.86 ,  	<p>◆ 計算の仕方を、式の数字と記号の意味を対応させて説明させる。 (手立て2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブロック操作をさせたり、図や式を書かせたりして考えさせる。 ・「+、-」の意味が難しい児童には「降りた」「乗った」の言葉と対応させる。 ・早く終わったら、違う方法でもやってみるようにさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・なるべく違う方法の児童をグループにして交流させる。(3~4人) <p>□ 2つの数の加法や減法を基に、3つの数の加減混合計算の仕方を考え、説明している。(発言・ノート)</p> <p>□ 3つの数の加減混合計算ができる。(ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1問目は一緒に解いてみる。
<p>終 末 5 分</p>	<p>6 学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかったこと ・できるようになったこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの観点を与えて、振り返らせる。

(3) 板書計画

3つのかずのけいさん



5ひきのって
います。

3びきおりました。
- 3

4ひきのります。
+ 4

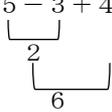
しき $5 - 3 + 4 = 6$

こたえ 6びき

㊦ たす、ひくがまざった
けいさんをやってみよう。

ぶろっく
○○~~○~~○○○○○

おりた のる

$5 - 3 + 4 = 6$


㊧ まえからじゅんにけいさんする。

㊦ p.86 6, 7

まえからじゅんに

けいさん

㊧ わかったこと

できるようになったこと